

証券コード 7834

平成17年10月1日から

平成18年9月30日まで



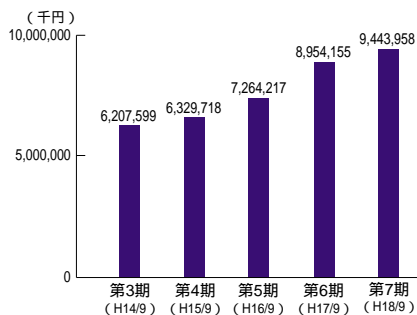
株主通信

第7期 事業報告書 vol.2

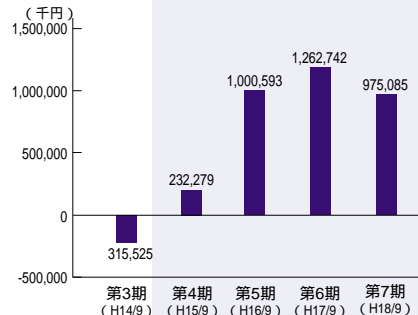
マルマン株式会社

 maruman

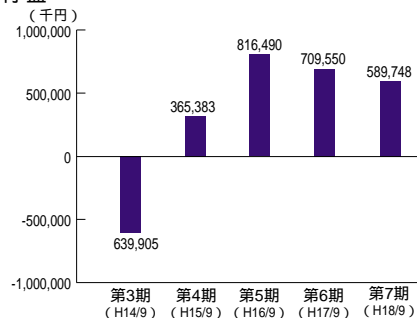
売上高



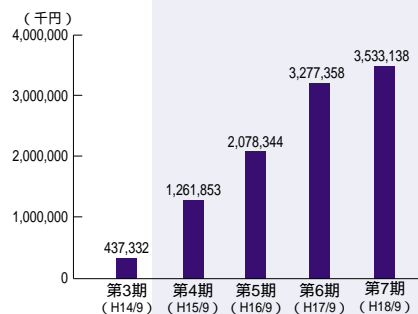
経常利益



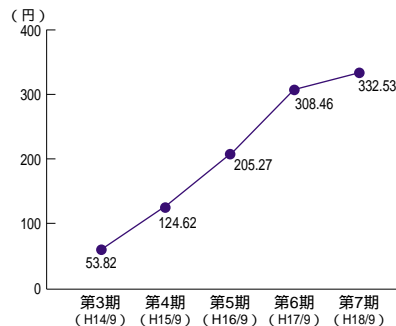
当期純利益



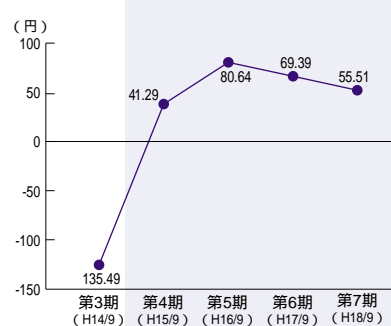
株主資本



1株当たり 株主資本



1株当たり 当期純利益



当連結会計年度より、連結財務諸表を作成しております。上記グラフ中第7期の数値は、連結財務諸表の数値を用いております。

当社は平成14年4月26日付で株式1株につき2.5株の株式分割を行っております。また平成17年2月21日付で株式1株につき2.5株の株式分割を行っております。上記では当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて当社グループ第7期(平成17年10月1日から平成18年9月30日まで)事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、平成17年7月にヘラクレス市場に上場し、株主の皆様にも支えられ、平成18年9月期も事業活動に邁進してまいりました。

当社グループの事業活動のキーワードは「健康」と「スピード」であります。平成18年9月期は「スピード」のある事業活動を実現するために大胆な組織改革を行いました。平成18年3月1日付でヘルスケア事業部を分社化し新会社「マルマンバイオ株式会社」を設立、平成18年9月20日の取締役会では国際事業部と特販事業部を分社化する決定をし、10月1日付でそれぞれ新会社として「エムアイトレーディング株式会社」、「マルマンエンタープライズ株式会社」を設立いたしました。それぞれの新会社において、意思決定のスピードアップ、経営の効率化を実現し、当社グループ全体の企業価値の一層の向上を図ってまいります。

ゴルフ用品関連事業につきましては、新製商品の投入、および国内市場におけるセルアウト戦略と海外市場のエリア拡大戦略により売上高は好調に推移している反面、各メーカーの競争が激化し、当社グループといたしましても、ゴルフクラブのライフサイクルの見直しを行いました関係で、利益面におきましては苦戦を強いられております。しかしながら、当社グループとして経営方針にも掲げておりますとおり、消費者の皆さんに喜んでいただけるものづくりとベストフィットする製商品をお選びいただける販売方法の実施、ならびに「一人でも多くの方々に」を合言葉に積極的に事業エリアを拡大することをもって、

着実に成長してまいりました。

健康食品関連事業では、平成17年9月期のような大型ヒット商品の不在と、業界全体の問題として効能・含有率に対する厳しい評価等が影響し、環境としては厳しい事業年度となりましたが、パイボが堅調な売上げを見せたことに加え、個性的な新商品を積極的に開発し、Eコマースやコールセンターといった無店舗販売ルート、西日本エリアでの新規顧客開拓という新たなチャネルを通じた拡販にも取り組んで参りました。

現在のマルマン株式会社は、2001年5月に旧マルマングループから営業権の譲渡を受け、わずか4年足らずでヘラクレスに上場を果たしました。そして平成18年9月期は、分社化をおこない子会社を3社にするなどして、新生マルマングループとなって大きく飛躍した一年でした。また、平成18年12月21日開催の株主総会におきまして新任取締役島貫慶太をご選任いただき代表取締役会長として経営陣に迎え入れ、経営組織の充実を図っております。

今後とも、これまで以上に皆様方に信頼を持って受け入れられる企業となるべく努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

2006年12月

代表取締役会長 兼 社長 島貫 慶太

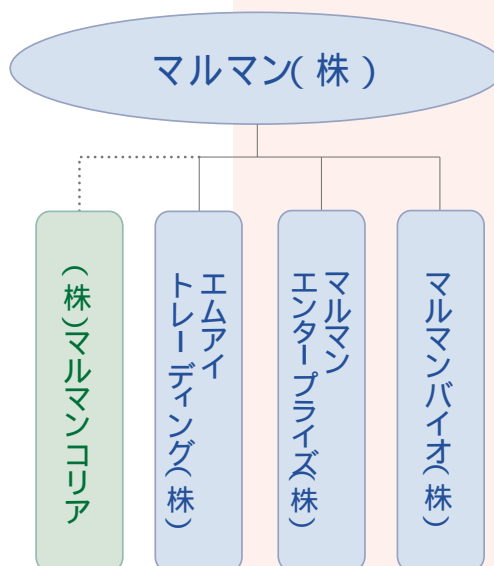
ヘルスケア事業部、国際事業部、 特販事業部を分社化し新会社 を設立

当社のヘルスケア事業部が事業展開している健康食品の市場は、成長が期待される有望な市場です。市場内における競争力の強化とシェアの拡大を図っていくためには、現在の事業体制の抜本的な見直しが必要と判断し、そこで同事業部の会社分割による分社化を決定いたしました。平成18年3月1日付けで、同事業は新会社「マルマンバイオ株式会社」が承継しました。平成18年9月期においては、Eコマース及びコールセンターなどの無店舗販売ルートの開拓と、西日本エリアでの営業強化・新規チャネル開拓によって成果を収めました。

また、国際事業において、アジア地域を中心とした海外ゴルフ市場でのシェア拡大戦略を積極的に展開してまいりました。一方、国内では今期より新たな販売チャネルの開拓を目的とした特販事業を立ち上げ、東京支店と大阪支店と福岡支店に専門部隊を設置し、ゴルフ場を中心としたアクティブゴルファーへの販売強化を図ってまいりました。

今般、海外市場におけるシェアの拡大、ならびに国内ゴルフ市場における新たな販売チャネル開拓を一層加速化させることを目的として、国際事業部と特販事業部の会社分割による分社化を決定いたしました。平成18年10月1日より、国際事業部は新会社「エムアイトレーディング株式会社」に、特販事業部は新会社「マルマンエンタープライズ株式会社」に承継されております。

マルマングループ



((株)マルマン코리아は40%出資の持分法適用会社です。)

当社グループは、ゴルフ用品の製造販売と健康食品の販売を中心に事業展開しております。

ゴルフ用品関連事業

韓国・台湾に加えて、東南アジア・米国・中国でも販売好調

当社グループの誇る「ナノテクノロジー」技術を駆使し、高反発規制に適合する新製商品を発売してまいりました。当社グループは、超高級プレミアムゾーンとして確立された「マジエスティ」、競技志向の「エクシム」、スポーツとレジャーをバランスよく両立させた「メタバイオ」、エントリーモデルの「ペリティ」、レディース専用モデルの「フィガロ」と消費者のプレー志向にあわせたブランドを展開し、幅広いニーズに対応しております。更に、ゴルフクラブだけではなく、キャディバッグをはじめとした関連アクセサリーのラインナップの充実および拡販に注力しております。また、これまで「マジエスティ」を中心に韓国および台湾において確固たるポジションを確立しておりましたが、「エクシム」「メタバイオ」について積極的な拡販施策をとった結果、東南アジア諸国、米国、中国向けの販売も順調に推移しております。

この結果、ゴルフ用品関連事業の売上高は78億6千9百万円(前会計年度比8.9%増)となりました。

健康食品関連事業

無店舗販売店との取引で新規販売チャネルを開拓

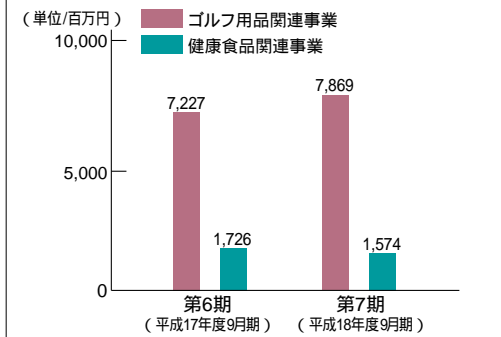
一方、健康食品関連事業につきましては、既存販売ルートであります薬系販売店、専門販売店の更なる販売強化を実施した他、新規販売チャネルの開拓として無店舗販売店との取引を本格的に開始いたしました。特に、薬系販売店では生活習慣病対策商品が進捗しております。無店舗販売店につきましては、ダイエット・美容商品を積極的に投入し、ターゲットとなる女性向け戦略商品の開発に注力いたしました。しかしながら大型ヒット商品が不在であったこと、健康食品業界に対して効能・含有率などに厳しい評価などの逆風もあり、健康食品関連事業の売上高は15億7千4百万円(前会計年度比8.8%減)となりました。

全般的概況

原材料費高騰の逆境の中で、5期連続の売上増を達成

原油価格の高騰、国内および中国経済の活発化に伴う需要逼迫からゴルフクラブ用のヘッド各種鋼材、同シャフト用のカーボン繊維その他各種原材料が高騰したことから売上原価が上昇いたしました。また、常に競争力のある製商品群を供給し続けるために、主要ゴルフクラブのライフサイクルを見直しましたことから、在庫の陳腐化リスクの影響が、売上原価の上昇と販売面の粗利率の低下の両面に出ております。この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が94億4千3百万円(前会計年度比5.5%増)、営業利益8億7千9百万円(前会計年度比31.9%減)、経常利益9億7千5百万円(前会計年度比22.8%減)、当期純利益5億8千9百万円(前会計年度比16.9%減)となりました。なお、前連結会計年度比較につきましては、前連結会計年度には連結子会社がありませんでしたが、当連結会計年度中における連結子会社でありますマルマンバイオ株式会社の業績の全てが前連結会計年度の当社に包含されることから、当社単体との比較を行っております。

売上高の推移



クラブやバッグなどのゴルフ関連製品の製造販売をおこなっております。最高級カテゴリにおいて、当社の「マジェスティ」は、シェアナンバーワンを維持し、またナノテクノロジーをゴルフクラブ製造に初めて導入するなど、「ブランド力」、「技術力」を併せ持った当社の主力事業です。当社のクラブの特性として、軽量で、効率よく飛ばせるシニアゴルファーのプレイに非常に適したものであり、今後、退職される団塊の世代の方々等をターゲットにした、シニア層マーケットに強みをもっております。

また海外市場は今後も拡大が期待され、「マジェスティ」などは韓国での売上げが特に堅調であり、タイやマレーシアといった東南アジア地域では、「エクシム」や「メタバイオ」の販売が好調です。

「マジェスティ」35周年記念モデル

マルマン史上最高の飛距離性能と最高の美観を追求

ドライバーには新設計理論「B理論設計」を採用し、表面の硬度だけを上げる特殊加工「ヒートリパルジョン処理」を施し、既存モデルに比べ、トータルで7ヤードもの飛距離アップ。

アイアンにはいつまでも美しい輝きを保ち続ける「ダイヤモンドカーボン処理」を施こし、ヘッドにはアイアンでは世界初となるナノテク「フラーレンチタン」を採用。またフェイスには最高の疲労強度を誇る「スーパータフェストチタン」を採用。ドライバー500本、アイアン500本の世界限定発売です。



ニュー「METABIO」

ミドル層市場でのシェア拡大に向けた戦略製品である「METABIO」シリーズのモデルチェンジを行い、大型ヘッドでありながらボールの捕まりが良く飛距離が伸びる、ニュー「METABIO」を2006年10月に発売いたしました。2008年から適用されるウッドクラブの反発係数規制適合製品。女性がやさしく振り切れる高弾道クラブ「METABIO レディス」も同時発売。



フィッティングアリーナの設置

「フィッティングのマルマン」ともいわれる当社は、スイング診断システム「マルチモーション」を国内では名古屋、大阪に加えて札幌にも開設し、お客様に最適なクラブをお奨めする「クラブフィッティング」を実施しております。海外ではソウルに続き釜山でも2007年1月にフィッティングアリーナを開設し、顧客層拡大に向け体制を強化しております。



1984年に販売を開始したパイボのシェアは90%であり、'パイボ' といったらマルマンとのブランドイメージを定着してまいりました。パイボ市場は、タバコ税引き上げや健康志向の高まりから、さらに拡大しております。またサプリメント事業では、個性的な新商品を積極的に開発し、次々と新商品を市場に投入しております。また販売チャネルとしては、大手ドラッグストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストアといった小売店舗販売ルートだけでなく、健康食品市場の中でも成長性が高い、Eコマース・ウェブ通販・携帯電話通販といった無店舗販売ルートにも拡大しております。特徴としては、ファブレスメーカーであり製品・成分企画に特化しているため、トレンドを察知し、迅速な意思決定が可能であることがあげられます。

「肝活源 90粒」

肝機能アップ効果のある成分グルタチオンや良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラルなどを豊富に含む酵母エキスを主成分に、ビタミンB1、B2などをバランスよくブレンド。



期待される
効用・効果

慢性疾患の改善、解毒作用、
細胞賦活作用、アルコール性肝機能障害
の抑制、美肌

こんな方に
おすすめ!

健康・美容を意識する忙しい現代人の方

「プラチナナノコロイド」

活性酸素種は12種を数えます。その12種の活性酸素種に対して有効な新素材、プラチナ(白金)ナノコロイドを配合した新時代の栄養機能食品です。



期待される
効用・効果

抗酸化・アンチエイジング・肌荒れ・美容・
色素沈着抑制、動脈硬化・心筋梗塞・
脳梗塞・リュウマチ

こんな方に
おすすめ!

身体の中から綺麗になりたい方

「おいしいウコンドリンク 超微粒子」

沈殿を防ぎ、飲みやすくするため、主成分のクルクミンを超微粒子化!



期待される
効用・効果

アルコールの
代謝・解毒、抗酸化作用、
滋養・栄養補給、疲労回復

こんな方に
おすすめ!

お酒を飲む機会が多い方

「カリウムバランス」

余分な水分やナトリウムの排泄を促進し、細胞を活性化して血圧を下げる働きがあるカリウムと、血管拡張作用によってゆっくりと持続的に血圧を下げ、血中コレステロールを低減する作用のある山査子を配合し、さらにビタミンB群をバランスよくブレンドしました。



期待される
効用・効果

【カリウム】高血圧、血行障害の予防・改善
肥満、むくみ改善 疲労回復効果 等

【山査子】血中コレステロール低下、血液
浄化・循環の改善 活性酸素消去 等

こんな方に
おすすめ!

塩分を取りすぎの方

記載された表現は薬事法等諸規則に基づくものではありません

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 平成18年9月期
(資産の部)	
流動資産	5,466,634
現金及び預金	566,038
受取手形及び売掛金	3,093,373
たな卸資産	1,713,634
繰延税金資産	52,849
その他	75,989
貸倒引当金	35,251
固定資産	538,914
有形固定資産	174,273
建物	22,384
機械装置及び運搬具	29,037
工具器具備品	121,691
その他	1,160
無形固定資産	37,730
ソフトウェア	13,989
その他	23,740
投資その他の資産	326,910
投資有価証券	177,958
繰延税金資産	13,778
その他	166,157
貸倒引当金	30,983
資産合計	6,005,548
(負債の部)	
流動負債	2,441,631
支払手形及び買掛金	1,342,400
短期借入金	531,147
未払法人税等	273,680
その他	294,403
固定負債	30,778
製品保証引当金	25,478
その他	5,300
負債合計	2,472,410
(純資産の部)	
株主資本	3,519,191
資本金	1,046,500
資本剰余金	612,137
利益剰余金	1,860,659
自己株式	105
評価・換算差額等	13,947
為替換算調整勘定	13,947
純資産合計	3,533,138
負債・純資産合計	6,005,548

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成18年9月期
売上高	9,443,958
売上原価	5,170,901
売上総利益	4,273,057
販売費及び一般管理費	3,393,775
営業利益	879,282
営業外収益	120,496
持分法による投資利益	113,738
その他	6,757
営業外費用	24,693
支払利息	12,732
売上割引	2,952
為替差損益	3,904
その他	5,103
経常利益	975,085
特別利益	9,066
貸倒引当金戻入益	8,457
固定資産売却益	609
特別損失	21,303
移転費用	14,766
固定資産除却損	6,536
税金等調整前当期純利益	962,848
法人税、住民税及び事業税	321,074
法人税等調整額	52,025
当期純利益	589,748

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:千円)

科目	当期 平成18年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	183,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	275,754
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,805
現金及び現金同等物の増減額	394,504
現金及び現金同等物の期首残高	960,542
現金及び現金同等物の期末残高	566,038

連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科目	株 式 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成17年9月30日残高	1,046,500	612,137	1,618,757	37	3,277,358
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			371,873		371,873
当期純利益			589,748		589,748
自己株式の取得				68	68
持分変動による変動額			24,026		24,026
株主資本以外の項目の連結会計年度中変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	241,901	68	241,833
平成18年9月30日残高	1,046,500	612,137	1,860,659	105	3,519,191

科目	評価・換算差額等		純資産合計
	評価・換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成17年9月30日残高	-	-	3,277,358
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			371,873
当期純利益			589,748
自己株式の取得			68
持分変動による変動額			24,026
株主資本以外の項目の連結会計年度中変動額(純額)	13,947	13,947	13,947
連結会計年度中の変動額合計	13,947	13,947	255,780
平成18年9月30日残高	13,947	13,947	3,533,138

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期	当期
	平成17年9月期	平成18年9月期
(資産の部)		
流動資産	5,148,234	4,610,768
現金及び預金	960,542	361,613
受取手形	774,569	548,287
売掛金	2,210,444	2,105,423
商品	316,668	93,199
製品	425,480	765,114
原材料	275,268	553,890
仕掛品	112,219	101,435
貯蔵品	6,837	9,800
前払費用	28,192	32,567
繰延税金資産	62,665	28,458
未収金	7,594	17,137
その他	8,320	26,834
貸倒引当金	40,568	32,993
固定資産	348,996	576,978
有形固定資産	127,237	173,943
建物	9,898	22,384
機械装置	8,445	21,717
車輛運搬具	7,301	6,990
工具器具備品	101,060	121,691
建設仮勘定	531	1,160
無形固定資産	47,111	37,730
特許権	11,592	8,355
商標権	1,948	1,210
ソフトウェア	19,310	13,989
電話加入権	14,036	14,036
その他	224	138
投資その他の資産	174,646	365,304
投資有価証券	696	696
関係会社株式	52,770	215,928
破産更生債権	36,433	30,983
長期前払費用	4,701	2,435
繰延税金資産	49,038	13,778
差入保証金	67,029	132,332
その他	410	135
貸倒引当金	36,433	30,983
資産合計	5,497,230	5,187,747
(負債の部)		
流動負債	2,176,081	1,843,792
支払手形	962,287	461,605
買掛金	350,853	387,761
短期借入金	437,363	531,147
未払金	193,845	168,435
未払費用	82,645	61,978
未払法人税等	132,124	204,897
前受金	7,466	7,460
預り金	9,431	20,507
その他	65	-
固定負債	43,791	30,778
製品保証引当金	40,491	25,478
その他	3,300	5,300
負債合計	2,219,872	1,874,571
(資本の部)		
資本金	1,046,500	-
資本剰余金	612,137	-
利益剰余金	1,618,757	-
自己株式	37	-
資本合計	3,277,358	-
負債・資本合計	5,497,230	-
(純資産の部)		
資本金		1,046,500
資本剰余金		612,137
資本準備金		612,137
利益剰余金		1,654,643
自己株式		105
純資産合計		3,313,175
負債・純資産合計		5,187,747

損益計算書

(単位:千円)

科目	前期	当期
	平成17年9月期	平成18年9月期
売上高	8,954,155	8,460,167
売上原価	4,502,884	4,602,877
売上総利益	4,451,270	3,857,290
販売費及び一般管理費	3,159,405	3,133,166
営業利益	1,291,865	724,123
営業外収益	21,858	26,441
受取利息配当金	137	10,936
為替差益	7,560	-
業務委託料	-	8,952
還付加算金	-	3,342
受入和解金	9,000	-
その他	5,161	3,210
営業外費用	50,981	24,414
支払利息	18,142	12,732
売上割引	1,075	2,674
手形売却損	-	1,957
為替差損	-	3,904
上場準備費	25,190	-
新株発行費	6,561	-
その他	11	3,145
経常利益	1,262,742	726,149
特別利益	1,047	9,066
貸倒引当金戻入益	972	8,457
固定資産売却益	75	609
特別損失	5,833	21,303
移転費用	-	14,766
固定資産除却損	5,833	6,536
税引前当期純利益	1,257,957	713,912
法人税、住民税及び事業税	508,687	252,291
法人税等調整額	39,719	53,861
当期純利益	709,550	407,759
前期繰越利益	909,206	-
当期末処分利益	1,618,757	-

株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科目	株式資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
平成17年9月30日残高	1,046,500	612,137	612,137	1,618,757	1,618,757
事業年度中の変動額					
剰余金の配当				371,873	371,873
当期純利益				407,759	407,759
自己株式の取得					
事業年度中の変動額合計	-	-	-	35,886	35,886
平成18年9月30日残高	1,046,500	612,137	612,137	1,654,643	1,654,643

科目	株式資本		純資産合計
	自己株式	株式資本合計	
平成17年9月30日残高	37	3,277,358	3,277,358
事業年度中の変動額			
剰余金の配当		371,873	371,873
当期純利益		407,759	407,759
自己株式の取得	68	68	68
事業年度中の変動額合計	68	35,817	35,817
平成18年9月30日残高	105	3,313,175	3,313,175

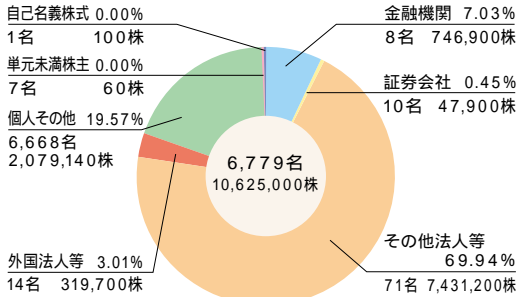
(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式等の状況

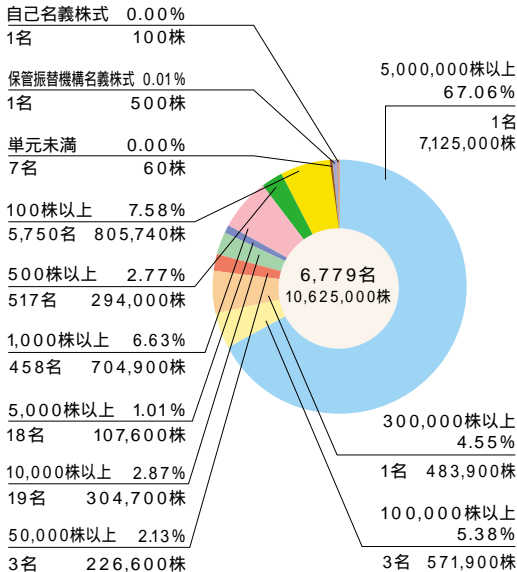
2006年9月30日
現在

会社が発行する株式の総数 — 32,500,000株
発行済株式の総数 — 10,625,000株
株主数 — 6,779名

所有者別株式分布状況



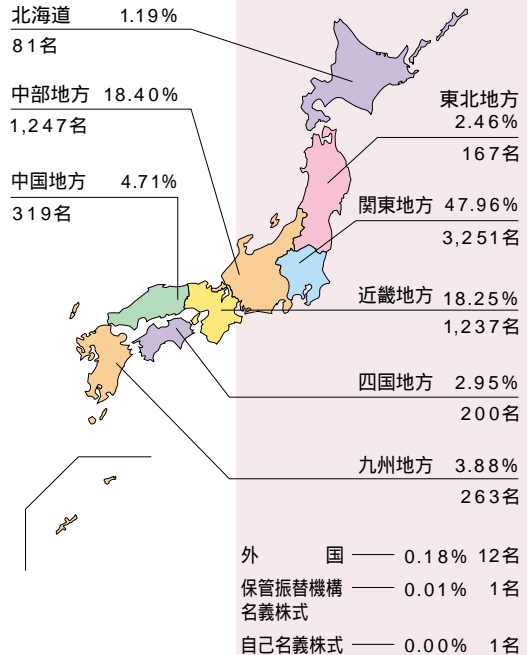
所有者株数別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)T・ZONE ホールディングス	7,125,000	67.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	483,900	4.55%
(株)オズ	266,100	2.50%
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	200,000	1.88%
資産管理サービス信託銀行(株)	105,800	1.00%
日本マスタートラスト信託銀行(株)	97,600	0.92%
大西 一男	70,400	0.66%
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505025	58,600	0.55%
犬竹 一浩	40,000	0.38%
ダイワ セキュリティーズ エスエムビーシー ホンコンリミテッド フォー ダイワ エスピーシーエム キャセイ セキュリティーズ エイジェンシー	28,400	0.27%

株主数(地域別)



会社概要

2006年9月30日
現在

社名 マルマン株式会社
所在地 東京都中央区日本橋室町3-2-15
日本橋室町センタービル11F
TEL:03-3272-9400 FAX:03-3272-9401
株式上場日 2005年7月21日(ヘラクレス:7834)
資本金 1,046,500千円
発行済株式数 10,625,000株(1単元株式数:100株)
経営陣 代表取締役会長兼社長 / 島貫 慶太
代表取締役副会長 / 星野 英男
代表取締役副会長 / 大隅 宏昭
取締役副社長 / 大東 日出和
取締役副社長 / 清水 哲雄
取締役副社長 / 前田 裕之
常勤監査役 / 篠崎 秀幸
社外監査役 / 鈴木 昌也
社外監査役 / 伊井 和彦
事業内容 ゴルフクラブ・ゴルフ用品および、
健康食品・バイボの製造販売
主要株主 (株)T・ZONEホールディングス
国内拠点 【工場・研究施設】東京都南千住工場
【支店】札幌、仙台、東京、名古屋、
大阪、福岡 計6ヶ所
海外拠点 台湾支店(1997年6月開設)
(株)マルマン코리아
(ソウル市、2003年4月設立、出資比率40%)
主要取引先 ゴルフ事業:アルペン、二木ゴルフ、有賀園ゴルフ、
ゼビオスポーツ
健康食品事業:マツモトキヨシ、サンドラック、イオン

■ 連結子会社

商号 マルマンバイオ株式会社
設立年月日 2005年3月1日
業務内容 健康食品・バイボ等の開発・製造・販売

商号 エムアイトレーディング株式会社
設立年月日 2006年10月1日
業務内容 ゴルフクラブ・ゴルフ用品・健康食品・アパレル製品等の
輸出入販売

商号 マルマンエンタープライズ株式会社
設立年月日 2006年10月1日
業務内容 ゴルフクラブ・ゴルフ用品等のゴルフ場等への販売及び
新規事業

■ 持分法適用関連会社

商号 株式会社マルマン코리아
設立年月日 2003年4月9日
業務内容 韓国国内でのゴルフクラブ・ゴルフ用品等の販売

利益還元について

当社グループの利益配分に関する基本方針につきましては、当社グループの株主の皆様への利益配当を第一と考えた上で、財務体質と経営基盤、および今後の事業展開を総合的に勘案して決定しております。長期的な事業継続・成長を目指す上で必要となります内部留保を確保した上で、毎連結会計年度の利益につきましては、積極的に利益配当として株主の皆様のご期待にお応えし続けることを基本方針としております。

この基本方針に基づいて、以下の配当金を実施しております。

平成17年9月期 一株につき35円
(上場記念配当一株につき15円を含みます。)
平成18年9月期 一株につき35円

株主優待制度について

当社は、当社への一層のご理解とご愛顧をいただき、当社株式の魅力を向上させることを目的とし、昨年に引き続き株主優待制度を実施いたします。優待内容につきましては、マルマンバイオ(株)の健康食品「ルテイン・ドリンク」を以下の基準で贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	12本
500株以上1,000株未満	30本
1,000株以上	60本

株主メモ

決算日 / 毎年9月30日

定時株主総会 / 毎年12月

配当金受領株主 / 毎年9月30日
確定日

株主名簿管理人 / 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 / 〒103-8670

(お問い合わせ先)

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

0120-288-324(フリーダイヤル)

同 取 次 所 / みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

みずほインベスターズ証券株式会社

本店および全国各支店

公 告 の 掲 載 / <http://www.maruman.co.jp/>

上場証券取引所 / 大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット

——「ヘラクレス」

 **maruman** マルマン株式会社

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町3-2-15 日本橋室町センタービル11F

TEL:03-3272-9400 FAX:03-3272-9401

URL:<http://www.maruman.co.jp/>